

夏の川で大はしゃぎ

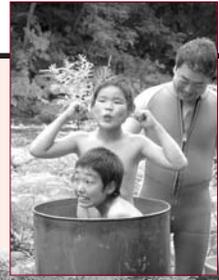
～ふおれすと鉱山『夏休みスペシャルウィーク』～

8月12日(金)から14日(日)までの3日間、ふおれすと鉱山で毎年恒例の『夏休みスペシャルウィーク』が行われました。

この催しは、市民にさまざまな遊びや体験を通して自然に親しんでもらおうと、ふおれすと鉱山活動支援組織『モモンガくらぶ』などの協力を得て毎年行われているもので、大勢の親子連れなどでにぎわっていました。

今年の会場は、夏らしい遊びのプログラムが盛りだくさん。『川のもんきーパーク』に参加した子どもたちは、夏でも冷たい川の中に飛び込んで大はしゃぎ、冷えた体をドラム缶のお風呂で温めていました。『フクロウクラフト』は、木の枝や皮、葉を使いフクロウを作るもので、小さい子どもの参加が多かったためか、保護者の方が真剣そのもの。親子で協力して作品を完成させていました。

このほか、『草木で染めよう』『森のキャンパス』『夕暮れ炭づくり』『川又温泉ツアー』などが行われ、参加者は残り少ない夏を楽しんでいました。



川のもんきーパーク



フクロウクラフト

リサイクルの大切さを実感

～リサイクルまつり 05イン登別・白老～



ロウソク作り体験

7月31日(日)・8月1日(月)の2日間、クリンクルセンターで、登別市と白老町が主催する『リサイクルまつり 05イン登別・白老』が開かれました。

会場にはフリーマーケットや地球温暖化、リサイクルなどをテーマにした各コーナーが登場。中でも廃油を活用して走るバイオディーゼルの展示や廃食油を使ったカラフルなローソク作り、ペットボトルを利用した風車づくりなどの体験コーナーが子どもたちの人気を集めていました。

また、エココーナーやびん・缶の手選別ラインを見学し、スタンプを集めた方にはたい肥のプレゼントがあり、市民には大好評。参加者は多彩なイベントを楽しみながら、リサイクルの大切さを実感していました。

夏休みの自由研究ができたよ

～夏休み工作教室～

7月27日(水)・28日(木)の2日間、文化伝承館で、毎年恒例となっている『夏休み工作教室』が開かれました。

今年は、幼児から小学生とその保護者約80人が参加。子どもたちは、悪戦苦闘しながらも、郷土資料館ボランティアグループSLGの指導を受け、『ライダー』や『からくり人形』『万華鏡』『回転ロケット』を作り上げました。

万華鏡作りでは、ラップやアルミホイルなどの芯、グリセリン、スパンコール、ビーズ、色砂などを利用して自分だけの作品づくりに挑戦。完成後は、「難しかったけど、楽しかった」「夏休みの自由研究ができたよ」と満足顔で話していました。

